fantoni　ハイカウンター取扱説明書

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

注意

●火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
●天板の上に腰掛けたり乗ったりしないで下さい。転倒したり、こわれてケガをすることがあります。
●天板には80Kg（等分布加重）以上の物を載せないで下さい。こわれてケガをすることがあります。
●棚板に15kg（等分布加重）以上のものをのせないでください。棚板が破損してケガをすることがあります。
●金具がゆるんだまま使用しないで下さい。本体がこわれてケガをすることがあります。
●異常を発見したまま使用しないで下さい。本体がこわれてケガをすることがあります。
●用途以外では使用しないで下さい。ケガをすることがあります。
●改造や分解をしないで下さい。破損やケガをすることがあります。

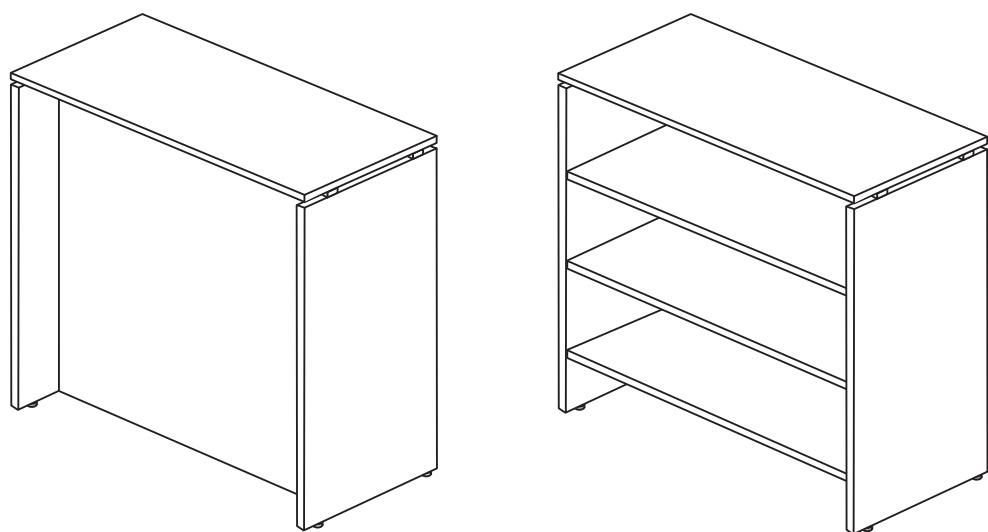
一般的ご注意

●廃棄するときは専門業者にお任せするか購入店へご相談下さい。
●水などをこぼした際は、そのまま放置せず速やかにふき取って下さい。端部から染みこみ本体が膨むことがあります。
●直射日光、冷暖房機器などの強風を直接当てないで下さい。本体がゆがんだり変色することがあります。
●高熱の物を直接天板の上に置かないで下さい。天板面や縁材が変色・変形することがあります。
●移動するときは２人以上で持ち上げて行って下さい。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。

お手入れ方法

1.汚れを落とす場合は、から拭きするかぬらして固く絞った布などで拭いてください。
2.汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後ぬらして固く絞った布などで拭いて、洗剤を完全に取り除いてください。
※シンナー、アルコール類は使用しないでください。

お問い合わせ先

製品に関するご質問は、ご購入店・または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。
ガラージお客様センター／ 0120-331-753（9:00～18:00）

品質表示

■外形寸法
GF,GL-129CH
W1200×D450×H950mm
GF,GL-099CH
W900×D450×H950mm
GF,GL-069CH
W600×D450×H950mm

■構造部材
合成樹脂化粧パーティクルボード
（メラミン）

■取扱上の注意.
・直射日光又は暖房器具などの熱を避けてください。
・加熱したなべ湯沸かしなどを直接置かないで下さい。

■表示者　プラス株式会社
ガラージ事業部
東京都千代田区三番町６番地14

MADE IN ITALY

fantoni　ハイカウンター組立説明書

注意

組み立ての前に必ずお読みください。不適切な組み立ては事故につながる恐れがあります。
必ず２人以上で組み立ててください。
梱包を開封する際は、カッターなどで本体をキズつけないよう十分ご注意ください。

●工具の取り扱いは十分ご注意ください。
●組み立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
●組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
●組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
●組立手順に従い、ネジなどで確実に組み立ててください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
●組み立ての際、製品および床などをキズつけないようご注意ください。

最初に必要なパーツがそろっているか確認してください

マーク説明

注意

２人で作業

敷物敷く

裏返す

ードライバー

木ダボ×4

敷物敷く

組み立て作業に入る前に各板のレバー金具が「開」の状態にあることを確認してください。

※レバーが少し固い時は
ードライバーを使って
動かしてください。

ードライバー

裏返す

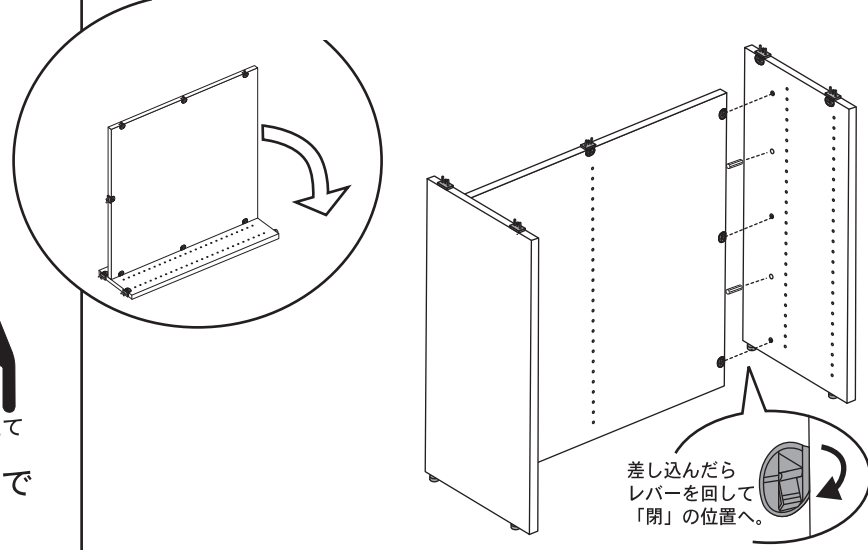
二人以上で組立て

起こす作業は２人以上で行ってください。

❶ 側板1＋幕板

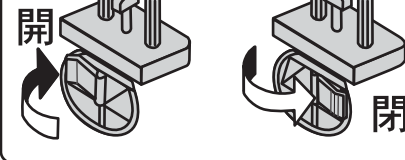
側板を一枚横に寝かせ、木ダボを差し込み、上から幕板を取り付けます。

❷ 側板2

❶を立てて、もう一枚の側板を取り付けます。

ードライバー

二人以上で組立て

天板を取り付ける作業は、
２人以上で行ってください。

組み立て作業に入る前に各板のレバー金具が「開」の状態にあることを確認してください。

部品

棚受け（A）×11

二人以上で組立て

棚受け（B）×4

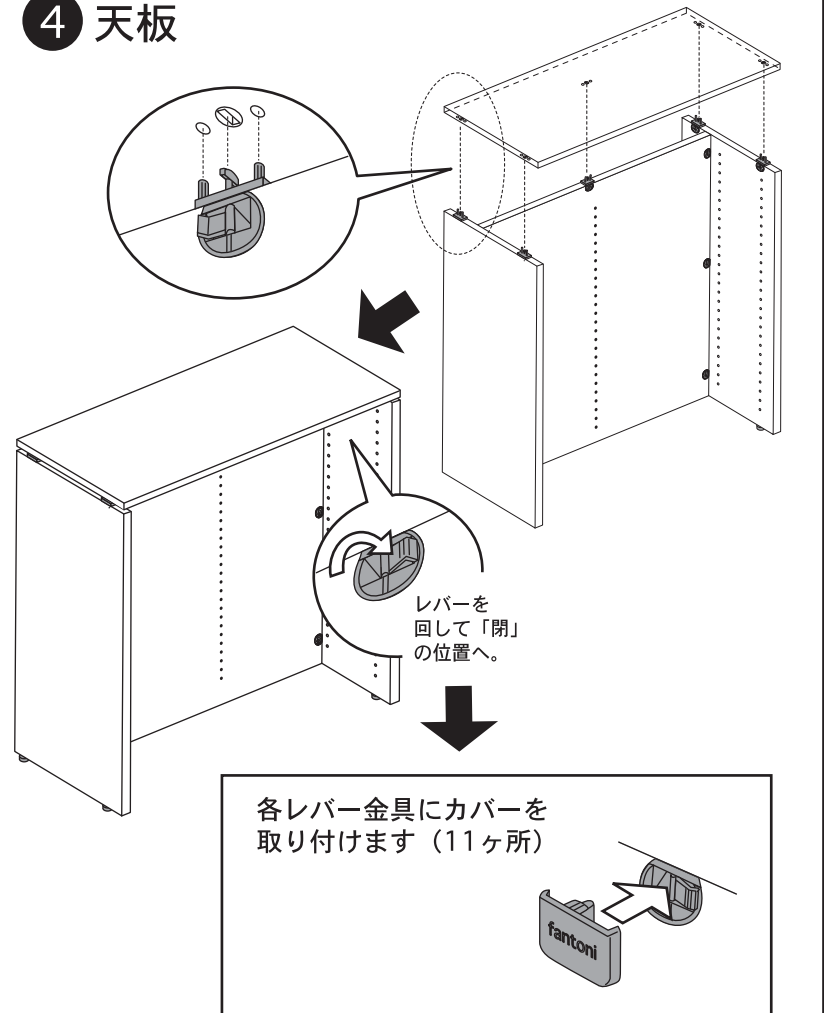
本体の中央付近の棚板（1枚）には棚受け（B）で取り付けて下さい。

棚受け(A)の取り外し方法

棚受け(A)のピンには抜け防止用の爪がありますので、そのまま強く引き抜くと本体を破損させることがあります。

取り外す時は、棚受け(A)を回転させながら、引き抜いてください。

抜け防止用の爪

❹ 天板

❺ 棚板

収納物に合わせて、棚の取り付け位置を決めて、棚受けを取り付けます。

TGF30-06-0809